

記事内容

- ☆第12回定期大会&躍進パーティー
 （定期大会・大会挨拶要旨・新会長挨拶・2011年度退任・新任役員紹介大会フォト）
- ☆地協ブロック連絡会・首長政策懇談会/教育フォーラム2011
 さいたまに「弁当の日」がやってきた
- ☆青年委員会「環境文化体験学習 in 屋久島」
- ☆JIRAF アフリカチーム受け入れ/もうすぐ選挙/12月の日程
- ☆あけぼのビル

—復興・再生に全力を尽くし、
 「働くことを軸とする安心社会」につなげよう—

第12回定期大会開催

連合埼玉第12回定期大会での 報告事項及び議事内容

【各種報告】

- 1)2011年度 活動経過報告
- 2)2011年度 会計報告
- 3)2011年度 会計監査報告
- 4)特別報告
 - ①2011年度「埼玉県労働委員会」報告
 - ②2011年度「埼玉県地方最低賃金審議会」報告

【議事】

- 第1号議案 2012年度～2013年度
 運動方針(案)について
- 第2号議案 2012年度 予算(案)について
- 第3号議案 2012年度～2013年度
 役員の出選について
- 第4号議案 顧問の委嘱について

11月17日(木)浦和ロイヤルパインズホテルにて、
 連合埼玉第12回定期大会を代議員、傍聴、来賓等
 約260名の参加のもと開催した。

今定期大会では今後2年間の運動方針や2012年
 度の予算、2012～2013年度の役員選出など、全議
 事を満場一致で確認した。



連合埼玉第12回定期大会 宮本重雄会長 挨拶要旨

一昨年11月、連合埼玉結成20周年という節目の定期大会において会長に就任し、早二年が経過しました。この間、本当にいろいろな出来事がありましたが、それぞれの課題に、各構成組織、地域協議会の皆さんが一生懸命取り組んでいただいたことに、心から感謝を申し上げます。本日は3つの課題について所見を述べ冒頭の挨拶といたします。

一つ目は、東日本大震災からの復旧・復興・再生についてです。3月11日、これまで経験したことのない巨大な地震、津波が東日本を襲いました。思いもよらぬ災害で人命を奪われた犠牲者の皆様に心から哀悼の意を表すとともに、被災されたすべての被災者の皆さまにも、改めて心からお見舞いを申し上げます。連合埼玉は地震発生以降、駅頭や職場での義援金カンパや支援物資の協力、被災地へのボランティア派遣、震災復興メーデーなどに取り組んできました。各構成組織・加盟組合・各地域協議会のみなさんからは、たいへんご協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。これからも連合埼玉は、この大震災で生まれた連帯感と決意を風化させないように、被災地の復旧復興支援や埼玉県に避難している方々の支援に継続的にかつ着実に取り組んでいきたいと思ひます。また、原子力エネルギー政策については凍結し、改めてエネルギー政策の総点検・見直しを行うこととしました。連合埼玉としても真摯に議論に参画していきますので各構成組織の忌憚のないご意見をいただきたいと思ひます。

二つ目は、政策制度実現のための政治活動についてです。2009年8月、民主党が政権に就きました。長らく続いた自民政権からの政権交代は、私たち労働組合にとっても長年の夢であり、勤労者・生活者の視点に立った政策が実現していく展望が大きく開け、私たちの期待は大きく膨らみました。しかし、残念ながら鳩山・菅両政権は、いずれも総理の指導力不足が指摘され、思慮を欠いた発言などにより失速し、国政の停滞、混乱を招き、重要課題が先送りされるなど、機能しない政治が続きました。

そうした状況下で行われた一昨年の第22回参議院議員選挙では、民主党が敗北し、現在の衆参ねじれ国会を生んでしまいました。また、今年4月の第17回統一地方選挙でも逆風の中で多くの民主党候補が落選していきました。これらの選挙で一番責任があるのは国会議員です。「連携してやろう」と言うだけで、何の努力もしていない。今政府の要職についたことで、中央にばかり目がいき、ますます地元の活動が疎かになっていないか。連合埼玉の推薦さえもらえれば後はお任せになっていないか。民主党埼玉県連の国会議員のみなさんは、もう一度足下からしっかりと固めることをお願いしたいと思ひます。

一方、民主党政権のこの2年間の政策には、実は大きなアドバンテージもあります。政権交代6ヶ月目に高校の無償化を実現しました。2年目には、35人以下学級を実現しました。大学では授業料の減免比率を上げたり、奨学金受給者を倍増させ127万人が奨学金で大学に進学しています。その他、子ども手当の創設、生活保護の母子加算復活、10年ぶりの診療報酬増額、雇用保険の加入要件緩和、求職者支援制度の創設、地方交付金の一括交付、NPO法人への寄付優遇税制など、自民政権では絶対に出来なかった政策を数多く実現しています。

野田政権には、政権交代のときに託されたこうした民主党らしい「国民の生活が第一」の政策を踏まえつつ、野党を巻き込んだ

粘り強い政治を進めていただきたいと思ひます。

三つ目は、組織強化についてです。地域協議会再編の取り組みとして「川口地域協議会」と「戸田・蕨地域協議会」の合併が今年1月に実現しました。また地域事務所については、久喜・川越事務所に続いて3番目の拠点として熊谷の地での事務所開設の準備を進めているところですので。これで地協再編の基本方針が完成し、12の地域協議会と東西南北の地域事務所がそろることになります。これからは、各地域の労組役員の人材とパワーを集約し、地域に根ざした顔の見える運動をより強固に展開していきたいと思ひます。そのためには、何より人材育成が必要です。私たち連合の使命は、自分たちの地位向上や労働条件の改善のみならず、会社の外にある社会的課題にしっかりと対応していくことです。連合運動をしっかりとしたものにしていくためには、まず各労組が企業内の対応をしっかりとできるようにしなければなりません。

連合埼玉は、本定期大会で「組合役員教育プログラム」を提起します。このプログラムは組合役員として習得すべきカリキュラムを体系だてて構築しています。このプログラムを通して、組合役員や組織のリーダーとしての資質向上に繋げていきたいと思ひています。多くの組合役員がこのプログラムに参加して多に研鑽を積むと同時に参加者同士の交流が生まれることを期待します。

連合埼玉には多種多様な業種が集まっています。仕事の進め方も違えば、ものの見方も違います。会社規模も様々です。そんな仲間と大いに交流して、外の風を浴び、刺激を受けて欲しいと思ひます。「会社が大変なんだから外の活動なんてとんでもない。」と思うかもしれませんが、企業内部に課題が多ければ多いほど外に出て交流して欲しいと思ひます。そのことで解決策が見つかることも多いのではないのでしょうか。連合運動を通しての外部との交流は、企業内にとどまっていたのでは決して出来ない貴重な体験になると思ひます。

今、労働組合は地盤沈下を起こしていますが、ここは我々がしっかり踏ん張り、労働組合の社会的位置づけを高めることが必要です。労働組合があって、それがしっかりと機能すること、社会の安心と発展にとって不可欠であります。労働組合が社会のインフラにならなければなりません。

最後になりますが、私は本日の大会をもって退任します。2年間という短い期間ではありましたが、私なりに精一杯努めてきました。至らない点も多々あったかと思ひますし、やり残したことも多くあります。しかし、連合埼玉は運動体です。役員が代わってもその運動は脈々と受け継がれていきます。次の新会長のもと新執行部・各組合は一丸となって連合運動を進めていって欲しいと思ひます。

宮本重雄 略歴

- ①1996年11月～ 13年間（執行委員）
2009年11月～ 2年間（会長）
- ②電機連合パイオニア労働組合川越支部

①任期 ②出身単組

新会長挨拶



新会長 小林直哉

連合埼玉第12回定期大会において、宮本重雄前会長の後任として会長に選任された小林直哉です。

百年に一度のリーマン・ショックと千年に一度の東日本大地震に立て続けに襲われた日本。そして、今またヨーロッパ発の世界債務危機に飲み込まれようとしています。ひたすら真面目に働き、社会に貢献し家族の幸せを求める勤労者にとって、自らの努力では到底防ぎきれない状況が続いています。そうした中で、産業や地域の枠を越えて集う800組合、19万人の連合埼玉の役割は、今まで以上に重要です。

不安が山積する現在ですが、その震源の一つが雇用不安です。社会人の入り口にあたる新卒者の就職率は60%台と超氷河期となっています。日本国憲法27条では、「すべての国民は勤労の権利を有する」としています。しかし、現実には夢を持って学校を卒業しても働く場を与えられない若者がたくさんいます。彼らに「社会から必要とされていない」と思わせてしまう社会は根本的におかしいです。そしていったん職についてもリストラや業務の統廃合の不安などが常に付きまとっています。さらに、社会人の出口段階でも無年金期間の対応などを迫られています。こうした状況に対し、働く者にとっての政策制度の改善要請を何としても実現しなければならぬと考えます。

新年度も引き続き、東日本大震災の被災地の復興・再生と被災者支援に全力を尽くすとともに、「働くことを軸とする安心社会実現」を目指します。そして、息の長い活動をするためには、何と言っても労働組合の担い手の人材育成が不可欠です。連合埼玉独自の組合役員教育プログラムを完成させて800構成組合の育成支援に努めます。

最後に、浅学非才の身ですが、誠心誠意連合運動のために努力してまいり所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

小林直哉 プロフィール

- ① JAM埼玉・ボッシュ労働組合
- ② A型
- ③ 比企郡滑川町
- ④ 路行かざれば到らず
事為さざれば成らず

- ① 産別・単組
- ② 血液型
- ③ 住所
- ④ すきな言葉

2012年度 連合埼玉役員

役職名	氏名	出身組織名	備考
会長	小林 直哉	JAM埼玉	新任
副会長	関口 信之輔	自動車総連	
	松井 健	UIゼンセン同盟	
	金井 浩	電機連合	
	山下 弘之	自治労	新任
	小室 隆行	JP労組	新任
	依田 修	電力総連	新任
	中沢 範夫	情報労連	
事務局長	佐藤 道明	電力総連	
副事務局長	山本 洋志	自動車総連	
	増田 貴也	電機連合	新任
	小穴 真一郎	JAM埼玉	
	鶴谷 一仁	情報労連	
執行委員	鈴木 満	自動車総連	
	斉藤 幸久	UIゼンセン同盟	新任
	平尾 幹雄	電機連合	
	小嶋 正弘	JAM埼玉	新任
	宮崎 太郎	サービス・流通連合	
	持田 明彦	自治労	新任
	関口 聡	JP労組	
	山本 健	電力総連	
	田口 文男	情報労連	
	横田 行秀	埼玉県私鉄	
	萩元 義則	フード連合	新任
	井上 聡	JEC連合	新任
	矢作 健児	埼交連	
	鈴木 昭二	運輸労連	
	小川 義寛	印刷労連	
	中島 幹夫	JR総連	
	天沼 好弘	基幹労連	
	高橋 和哉	国公総連	
	倉持 光好	埼玉教組	新任
	新井 誠二	全水道	新任
荻野 晃喜	建設埼玉		
小林 孝徳	青年委員会	新任	
横山 薫	女性委員会		
特別執行委員	上杉 裕子	電機連合	
	井上 尚子	情報労連	新任
会計監査	佐々木 堅二郎	サービス・流通連合	新任
	羽田野 省三	基幹労連	
	北沢 宏之	政労連	新任

退任役員を紹介

- ①在任期間
- ②産別・単組
- ③ひとこと

前副会長 浪江 福治(なみえ ふくじ)



- ①2005年11月～ 6年間
- ②自治労さいたま市職労働組合
- ③大変お世話になりました。2005年から副会長枠に自治労も入り、その任に就くことになりました。県本部委員長になって1年ほどで、それまでは単組の運動が中心であったため、関連するいくつかの任務にも就き、活動の幅が急に広がったことを思い出します。しかし、労働組合として働く者の幸せを求める運動は、産別や職場が違っても、関連する役職においても基本的に同じだと思います。退任することになりましたが、この間、事務局をはじめ、多くの皆さんに支えられてきたことに感謝を申し上げます。退任し組合の組織は離れましたが、働く仲間が未来が明るくなるように少しでも役立ちたいと思います。連合運動のますますの発展に期待をしています。

前副会長 内田 三四郎(うちだ さんしろう)



- ①2007年11月～ 4年間
- ②JP労組関東地方本部
- ③第12回定期大会を持って副会長を退任致しました。第10回定期大会において副会長のひとりに加えていただきましたのがスタートです。常設委員会では男女平等推進委員会を担当させていただきました。個人的な総括をすれば残念ですが、道半ばです。重要なテーマであることに異を唱える方は居られないと思いますが、どうしてもテーマの性格上、先送りしてしまうのかもしれない。産別、単組のトップの決断ともう一歩の後押しがあれば運動の展開に変化が起きると思います。それは賞味期限切れのため次の方に託させていただきます。4年間、大変お世話になりました。

前副会長 永井 啓介(ながい けいすけ)



- ①2005年11月～ 2年間(執行委員)、2007年11月～ 4年間(副会長)
- ②電力総連東京電力労働組合
- ③連合埼玉の役員として延べ6年間、数多くの仲間の皆さまにお支えご協力頂き活動できましたこと感謝お礼申し上げます。3/11の震災以降、原子力発電所の事故により広く地域社会の皆さまに多大なるご迷惑をおかけしております。一日も早い事故の収束、被災された方々への損害賠償、設備の復旧、計画停電を回避した電力の安定供給と、仕事と生活が大きく様変わりした私たちの仲間は使命感と責任感を持ち続け「電力の安定供給」こそが社会の成長・発展を成し遂げこれからも不変であると確信し、菌を食いしぱり課せられた任を全うするため懸命に取り組んでおります。今後も真面目にコツコツ働く者が報われる社会をつくる連合埼玉の活動に期待するとともに、加盟産別の組織の益々のご発展をご祈念申し上げます。

前副事務局長 木村 俊之(きむら としゆき)



- ①2003年11月～ 8年間
- ②JEC連合日本山村硝子労働組合
- ③8年間構成組織ならびに地域協議会の皆様にお支えいただき、ありがとうございました。2003年に就任し翌年7、13新潟水害へのボランティア派遣からはじまり、災害ボランティア救援隊を立ち上げ活動を進めてきました。東日本大震災では連合救援ボランティアが労働組合の社会的責任と認知され、この8年間の取り組みが総括されたと感じています。そして、今年7月末の新潟集中豪雨により、雪かたしを受け入れている奥会津・金山町が水害に見舞われ、災害ボランティア救援隊としてはじめて出動いたしました。文字通り災害に始まり災害に終わる8年間となりましたが、労働組合の原点は支え合いです。連合埼玉の更なる飛躍をご祈念申し上げます。

前執行委員 高木 英見(たかぎ ひでみ)



- ①2008年11月～ 3年間
- ②UIゼンセン同盟埼玉県支部
- ③3年間、執行委員として活動させていただいた中で、多くの事を学習する事ができました。誠にありがとうございました。組織委員会、男女平等参画委員会等、連合埼玉で経験したことを業務に活かしていきたいと、心を新たにしております。

前執行委員 鈴木 正男(すずき まさお)



- ①1997年11月～ 14年間
- ②JAM埼玉
- ③連合埼玉構成産別、単組の皆さん、連合地協の皆さん、長年にわたりご指導、ご鞭撻いただき心から感謝申し上げます。連合結成時の熊谷大里地協議長をスタートに、地協活動を8年間、執行委員を14年間、その任期を務め上げることができました。これもひとえに、衝動的な発言を繰り返す微力な私に対する、諸先輩方々の温かいご指導のたまものであります。誠にありがとうございました。最後に、連合埼玉が積極、果敢な活動を展開し、マスコミに大きく取り上げられ、新聞紙面を連日のように「連合埼玉」の四文字が踊り、ますます発展することをご祈念申し上げます。

前執行委員 加藤 幸一(かとう こういち)



- ①2005年11月～ 6年間
- ②自治労埼玉県本部
- ③1期2年間の空白期間を挟み、都合10年間お世話になりました。出来るだけ連合埼玉発展を目指し、産別の利害を越えて発言してきたつもりですが……。これからも引き続き産別の立場で連合埼玉の各種取り組みに参加させていただきます。

前執行委員 西野 雅也(にしのみさや)

- ①2009年11月～ 2年間
- ②フード連合デリフレッシュフーズ労働組合
- ③2年間、たいへんお世話になりました。この間、産別の枠を超えて、多くの方と知り合えたことは、大きな財産となりました。また、多くのことを学ばせていただきました。これからも、微力ながら連合埼玉を応援してまいります。

**前執行委員 安田 英正(やすだ ひでまさ)**

- ①2009年11月～ 2年間
- ②JEC連合富士フィルム労働組合
- ③2年間、たいへんお世話になりました。

**前執行委員 吉田 和男(よしだ かずお)**

- ①2010年11月～ 1年間
- ②日教組 埼玉教組
- ③1年という短い期間でしたが、大変お世話になりました。連合のたくさんの方との仕事は大変貴重なものでした。これからも、組合員として連合発展のため頑張ります。ありがとうございました。

**前執行委員 茂木 陽二(もぎ ようじ)**

- ①2001年11月～ 10年間
- ②全水道埼玉県支部さいたま市水道労働組合
- ③今定期大会をもって、10年務めた執行委員を退任いたします。私自身、これまでの単組での労働運動に加え、この間、連合埼玉の執行委員として多くの仲間と知り合え、そして活動できたことは、大変有意義かつ貴重な経験でありました。深く感謝いたします。長い間ありがとうございました。

**前執行委員 大室 元信(おおむろ もとのぶ)**

- ①2005年11月～ 6年間
- ②JR総連 JR東労組
- ③6年間大変お世話になりました。在任期間中は貴重な経験をたくさんさせて頂きました。そして、多くの方々と出会うことができ、有意義な6年間を過ごすことができました。ありがとうございました。学んだことを活かして、産別・単組の活動に奮闘します。

**前会計監査 濱田 浩(はまだ ひろし)**

- ①2005年11月～ 6年間
- ②JAM埼玉日本ピストンリング労働組合
- ③会計監査の重要な任務を6年間務めさせていただき、ありがとうございました。会計監査を担当し、私達の組合費が慎重且つ、大切に執行されている事を改めて実感いたしました。連合運動は横の活動、産別運動は縦の活動に例えられますが、連合埼玉の活動が県内で働く全ての人のため、縦横長く深い活動を今後も期待しています。

**前会計監査 田村 充(たむら みつる)**

- ①2010年11月～ 1年間
- ②政労連埼玉地連社会保険診療報酬支払基金労組埼玉支部
- ③1年間という短い任期ではありましたが、無事、会計監査の職務を終えることができました。大変お世話になり、ありがとうございました。



これまでのご活躍お疲れ様でした。

2012年度の NEW FACE

- ①産別・単組
- ②血液型
- ③住所
- ④好きな言葉
- ⑤抱負

【副会長】

小室 隆行(こむろ たかゆき)

- ①日本郵政グループ労働組合
- ②B型
- ③東京都三鷹市
- ④志定まれば気盛んなり
- ⑤私達を取り巻く環境は、国内外の経済情勢をはじめ、大変厳しいものがありますが、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、仲間の皆さんと一緒に頑張る決意です。どうぞよろしくお願いいたします。



【副会長】

山下 弘之(やました ひろゆき)

- ①自治労埼玉県本部
- ②O型
- ③越谷市
- ④原点に還る
- ⑤3.11の東日本大震災と原発事故によって、私たちの社会と生活の在り様が大きく関わっている。コストや効率性だけを重視する社会からの脱却。富を独占しない、人々のいのちと絆を大切に経済システム・社会への転換。今こそ、「自利から利他」を基本とする労働組合や協同組合の存在が試される時期だと思う。公的部門の再構築と拡充が急務であり、連合運動の中でその一翼を担いたい。



【副事務局長】

増田 貴也(ますだ たかや)

- ①電機連合岩崎電気労働組合埼玉支部
- ②B型
- ③行田市
- ④身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ
- ⑤いま、世界各国の財政難、経済混乱により、我々働く仲間がかつてない苦境に立たされています。この困難に立ち向かい、打破していくために「何が必要なか?」を常に考え、皆様にご提案・協議、そして実行に移していきたいと思っております。未熟者ではありますが、よろしくお願いいたします。



【副会長】

依田 修(よだ おさむ)

- ①電力総連東京電力労働組合埼玉総支部
- ②O型
- ③熊谷市
- ④信頼は信じることから始まる
- ⑤17年前31歳の時、副事務局長として連合埼玉にお世話になりました。当時は関係する多くの皆様にご迷惑をおかけしました。しかし、その間で知り合った仲間と経験が今までの私の活動の支えであり原点になっています。当時のことを思い出しつつ微力ながら連合埼玉の一員として、一所懸命取り組んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



【執行委員】

斉藤 幸久(さいとう ゆきひさ)

- ①UIゼンセン同盟 花菱縫製労働組合
- ②AB型
- ③さいたま市岩槻区
- ④大義名分
- ⑤春日部・岩槻・庄和地域協議会から、さいたま市地域協議会へと地域で連合活動を行ってまいりました。その経験を活かした活動ができるよう努力いたします。



【執行委員】

小嶋 正弘(こじま まさひろ)

- ①JAM埼玉
- ②A型
- ③川越市
- ④チームワーク、継続は力なり
- ⑤連合埼玉に集う多くの仲間皆さんとともに、同じ目標に向かってベクトルを合わせ、個々の力を結集しより大きな力をもって連合運動に参画していきたいと考えています。微力ではございますが、初心を忘れず頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



【執行委員】

持田 明彦(もちだ あきひこ)

- ①自治労小川町職員労働組合
- ②A型
- ③比企郡小川町
- ④明日にのびせることを今日するな
- ⑤「1人は微力でも無力でもない、集めれば大きな力になる」いま、社会は大きな変革の時を迎えています。私たち働く者、ひとり一人の力は小さいけれど、組合員の団結でさまざまな課題の解決に向けて、ともに頑張りたいと思います。



【執行委員】

萩元 義則(はぎもと よしのり)

- ①フード連合全日本たばこ産業労働組合
- ②A型
- ③富士見市
- ④一期一会
- ⑤若輩者ではありますが、諸先輩方と協力し、少しでも組合員様のお役に立てるよう、努めさせていただきますので、よろしくお願いたします。



【執行委員】

井上 聡(いのうえ さとし)

- ①JEC連合富士フィルム労働組合
- ②A型
- ③加須市
- ④為せば成る
- ⑤組織変更によりJAMとJECの二つの産別を経験することになった変わり者の労組役員です。今、日本のものづくり産業に元気が無く、グローバル化によって益々雇用が狭まったり労働環境が厳しくなってきていますので、元気の良い日本を取り戻すべく労組の進む道を考えていきたいと思っています。一緒に元気になりましょう!



【執行委員】

倉持 光好(くらもち みつよし)

- ①日教組 埼玉教組
- ②O型
- ③さいたま市北区
- ④今を生きろ
- ⑤二度目の就任です。働くことを軸とする社会の実現をめざして、任期いっぱい精一杯、努力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



【執行委員】

新井 誠二(あらい せいじ)

- ①全水道埼玉県支部さいたま市水道労働組合
- ②A型
- ③さいたま市大宮区
- ④雑草よ、私も強く生きている!
- ⑤加盟している多くの組織の運動方法を学びながら、執行委員としてお役に立てるようにガンバッテ行きたいと思っています、よろしくご指導をお願い致します。



【執行委員】

小林 孝徳(こばやし たかのり) 青年委員会

- ①UIゼンセン同盟埼玉県支部
- ②A型
- ③さいたま市浦和区
- ④義を見てせざるは勇なきなり
- ⑤新たに青年委員会委員長となり役員を務めさせていただくこととなりました。若手の組合リーダー育成へ向けて、執行委員としてしっかり活動を行っていきたく考えております。



【会計監査】

佐々木 堅二郎(ささき けんじろう)

- ①JSD 高島屋労働組合
- ②O型
- ③東京都府中市
- ④一期一会
- ⑤他労組の皆さんと仕事ができることを楽しみにしております。ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



【会計監査】

北沢 宏之(きたざわ ひろゆき)

- ①政労連雇用支援機構労働組合
- ②B型
- ③東京都杉並区
- ④なし
- ⑤よろしくお願いいたします



【特別執行委員】

井上 尚子(いのうえ なおこ)

- ①情報労連NTT労組北関東総支部
- ②AB型
- ③春日部市
- ④努力しない者に偶然のチャンスは訪れない
- ⑤はじめまして!何事にもチャレンジの気持ちで頑張っていこうと思います。皆さんに指導していただきながら一歩ずつ前進していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



第12回 定期大会フォト

The 17th local committee photograph



連合埼玉を代表して挨拶をする宮本重雄会長



議長団 小嶋正弘代議員
福田光子代議員



小林直哉新会長



埼玉県
塩川修副知事



埼玉県労働局
安藤よし子局長



全労済
片山修三本部長



(社)埼玉県経営者協会
森谷文昭会長代行



民主党埼玉県連
本多平直衆議院議員



連合埼玉推薦議員代表
畠山稔連合埼玉議員会議議長



司会進行役：小穴真一郎副事務局長



新任役員のみなさん



「ネット21運動」NPO応援・物品助成贈呈式



書記 甘浦大さん(青年委員会)
佐藤千恵さん(女性委員会)



団結ガンバロー

地協ブロック連絡会、市長・首長政策懇談会



西部ブロック(川越東武ホテル)

10月13日(西部ブロック)、14日(南部ブロック)、19日(北部ブロック)、20日(東部ブロック)の日程で「地協ブロック連絡会」と「市長・町長政策懇談会」を開催した。各ブロック連絡会には、連合埼玉宮本会長をはじめ各ブロック担当執行委員・各地協四役、また、政策懇談会には多数の市長・町長、推薦議員に参加いただき、活発な意見交換が行われた。

地協ブロック連絡会では、①2012～13年度運動方針(案)、②北部地域事務所の開設、③2011年度政策制度要求(地協統一)、について説明した後、各地協での政策要請の取り組み、地協活動報告等について意見交換を行った。

引き続き開催した「市長・町長政策懇談会」では、各市町での政策制度要請に対する実効性の向上に向け、昨年度より推薦首長に加え、地協より出席要請のあった首長にも参加をしていただき、①2011年度連合埼玉政策制度要請、②地方行政に関わる課題、等について意見交換を行った。意見交換では、各行政における厳しい現状や課題、要請内容についての考えなどが報告された。



北部ブロック(グランドホテル本庄)



南部ブロック(ときわ会館)



東部ブロック(三高サロン)

教育フォーラム2011

さいたまに「弁当の日」がやってきた!!

～子どもたちの自立!弁当の日と子育て～



講師の竹下和男氏

2006年よりはじまった教育フォーラムは、今年も連合埼玉、埼玉労福協の共催で11月10日ときわ会館にて開催された。

講師の竹下和男氏は香川県で教鞭をとった元校長先生であり、「子どもが作る“弁当の日”」は「地域に根ざした食育コンクール2003」で最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞している。

「弁当の日」とは、小学生・中学生に与えられた「献立を考え、買い出し、調理、弁当詰め、片づけ、全てを自分一人でごこなすミッション」である。

「親は決して手伝わないでください」と訴えて始まったこの実践方法は、お弁当をただつくるだけではない。まわりの子どもたち・大人・家庭・地域までも巻き込み、PTAを反対派から賛成派へと変えてしまう力を持っている。いまでは埼玉県では鴻巣市で3校(小学校1校、中学校2

校)がこの取り組みを実践しており、全国では46都道府県、約800校で実施されている。

「弁当の日」は、偏差値だけでは測れない心のはぐくみをも育ててくれる。

「大切なことは教えるのではなく、体験から気づかせたい」のが竹下先生の思いだ。お米を洗剤で洗う若者。お茶はペットボトルで買うことでしか手に入らない工業製品だと思ったまま大人になった若者。そんな大人にさせないためにも、まず親(自分)が子どもにその姿を見せなくては行けないと反省したセミナーだった。

青年委員会「環境文化体験学習in屋久島」

～縄文杉に逢いたい～

10月27日～30日に世界遺産に指定されている鹿児島県の屋久島を訪問し、他構成組織の仲間たちと共に大自然に触れ合うことにより、環境に対する認識と重要性を理解してもらう、さらに意識を向上してもらうことを目的に、2年に1度開催しています。



この島の、この山の中で天まで一直線に伸びている樹齢7000年ともいわれる縄文杉とそれを守るかのように生えている大王杉をはじめとする屋久杉を目のあたりにした瞬間の神秘的で雄大さは一生忘れることのない存在となりました。往復10時間歩き続けた筋肉痛と縄文杉は一生の思い出となりました。



一度は行ってみたいと思っていた屋久島。あいにくの雨であったが、疲れも残らず歩き切れたことは数千年の年月が作り上げた自然のパワーに違いなく実感しています。縄文杉の生命力に感服。「ありがとう!屋久島」



大変いい体験&経験をさせて頂きました。普段運動をしていなかった自分には、屋久杉登山がキツイものでしたが、それ以上に得るモノが大きかったです。あまり景色を見る余裕がなかったのは残念でした。翌日の島内視察も行動計画を任せながらも楽しかったです。



縄文杉までは、同じ班の皆様は助けて頂き無事辿り着く事ができました。体験学習を終えて、事前準備の大切さを改めて痛感しました。また、学んだ事を今後の仕事や組合活動に生かしていきたいと思います。



屋久島では1カ月に35日雨が降ると言われていますが真実です。手すりのない橋を渡りましたが帰りには川は濁流、落ちたら最後。ひとりの人間は自然に対し無力ですが、この自然を破壊する力も人間は持っています。



屋久杉の大自然に触れることができ、今迄に感じたことのない、自然への畏敬の念をもつことが出来ました。トレッキングの最中は、同じ班の仲間と声を掛け合い、短い間でも仲良くなり、良い思い出になりました。



「縄文杉を見る」というのが主目的のエコワークです。帰路を含め、約10時間の登山は想像よりも辛く何度も心が折れそうになりましたが、同じグループの方々と励まし合い、縄文杉まで到達することができました。他では味わう事のできない素晴らしい経験となりました。



過去に膝関節を骨折した事が原因で途中でリタイアしてしまいましたが、みんなが一心不乱に縄文杉を目指して脇目も振らず歩くのとは違い、ゆっくり屋久島の自然を一つ一つ観察しながら歩けたのは貴重な体験でした。



縄文杉に逢えました



樹齢数千年の屋久杉。感動も然る事ながら、昨年倒木となった二千年の翁杉を見て、近年の異常気象が、たった数十年で千年の自然を破壊してきた代償だという事に改めて気付いた。環境に優しい物造りを常に心掛けたい。



普段では、関わることの出来ない産別を越えた人達との話しは、とても新鮮で貴重な話ばかりでした。仕事の話はもちろん社会人としての考え方など四日間の研修中、さまざま先輩方の話も聞けてとても良い経験でした。



「屋久島はひと月に雨が35日降る」との言葉通り、まさに雨に祟られた4日間でしたが、苦しい道のりであったが故に、皆の連帯感も高まり、お互いを労わり励ましあながら縄文杉に到達出来た時の感動は一入でした。



コンクリートに囲まれた街路樹と全く違う入り組んだ山道で、屋久杉の巨石にも太く不規則に絡まる根や切り株から生える新たな芽を見て、現代人の利便性やスマートさのみの生活とは違う[原点の生命力]を感じました。



大自然のスケールの大きさに、驚きの連続でした。その中でも、樹齢何千年という屋久杉が切られて上納されていた時代背景があった事を知り、環境を守る事の難しさや、その事を知る大切さを実体験できました。



今回で3回目の参加です。来るたびに違う屋久島を感じました。以前は立派に育っていた翁杉が倒れていました。中がほとんど枯れ、1割程度しか残っていませんでした。自然の力強さを目の当たりにしました。雨だらけの行程でしたが大変貴重な体験をさせて頂きました。



体験学習以外にも、各産別の方と震災の復興ボランティア活動について、貴重な体験談も聞く事ができ今後の活動にも繋げていきたいと思います。



1日中雨の中、約10時間歩き続けやっとの思いで縄文杉を見る事ができました。その大きさ、太さ、存在感に圧倒され、長い長い年月を感じさせられました。一緒に参加した人達とも交流を深められ、素晴らしい体験学習になりました。

JIRAFアフリカチーム

県庁・労働局からおでん屋まで埼玉を満喫

財)国際労働財団(JILAF)「海外若手労組指導者招聘事業」としてアフリカ仏語圏チーム(11名)を11月14～15日の2日間にわたって受け入れた。

初日は埼玉労働局およびハローワーク大宮を視察し、県内の雇用・労働情勢について意見交換をおこなった。続いて埼玉県庁を訪問し、産業労働部による説明を受けた後、県庁および県議会議場を見学、当日は県民の日で県庁が解放され、県内のゆるキャラ達と大勢の親子連れは彼らの目にどのように映ったのだろうか?初日最後のプログラムは連合埼玉との意見交換。前段で山根りゆうじ外務副大臣(参議院議員)が駆けつけ、アフリカ諸国へのODA政策などについて労組レベルでの熱心な意見交換が実現した。連合埼玉との意見交換では、運動方針・政策制度などを説明する中で、ネットワークSAITAMA21運動に興味を示されていた。



JIRAFアフリカチームのみなさんと

2日目は全水道の協力でライフラインの視察としてさいたま市水道局配水管理場、情報労連の協力でさいたま市の文化体験として大宮アルディージャのクラブハウス、最後にUIゼンセン同盟の協力で大型商業施設と地域についてイオンショッピングセンターを訪問し、埼玉ミッションを終了した。

今回の訪問では赤提灯のおでん屋へも招待し、労働問題に留まらず幅広い日本文化に触れた。帰国後に埼玉ミッションの成果が出ることに期待したい。

= もうすぐ選挙 =

吉川市議会議員選挙

◆降旗 聡(ふりはた さとし) 41才(無・新・連合埼玉推薦初) 埼玉県私鉄・組織内
告示日:2012年1月22日(日) 投票日:2012年1月29日(日)

現在予定される12月の日程表です

12月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	木		①埼玉労協協「第12次東南アジア労働福祉視察団」(11/29～12/3・韓国) ②連合第6回中央委員会(10:00～・ラングウッド) 「番号制度シンポジウムin埼玉」(13:30～・浦和コミュニティセンター)
2日	金		
3日	土		
4日	日		①朝霞市議会議員選挙投票 ②上尾市議会議員選挙投票
5日	月	埼玉シニア連合幹事会(13:30～・連合埼玉会議室)	埼玉県「短時間勤務普及に関する共同宣言署名式」(13:40～・知事公館)
6日	火		
7日	水	①女性委員会「第23回定期総会」(13:30～・さいたま共済会館) ②ネット21運動「第6回運営委員会」(14:00～・連合埼玉会議室)	埼玉労協企画委員会(10:00～・ときわ会館)
8日	木		連合関東ブロック2012春闘推進会議(13:30～・水戸京成ホテル)
9日	金	第1回四役・執行委員会(ときわ会館)	西部第4地域協議会「第5回定期総会」(18:30～・所沢パークホテル)
10日	土		
11日	日		
12日	月		
13日	火		非正規労働センター地方連合担当者会議(13:30～・連合本部)
14日	水		東部地域協議会(18:30～・アクシス春日部)
15日	木		埼玉労協理事会(15:00～・ときわ会館)
16日	金		①埼玉地方労働審議会(10:00～・ホテルプリランテ武蔵野) ②連合関東ブロック中央ろうきん協働会議(14:00～・ホテルラングウッド) ③関東ブロック女性代表者会議(14:00～・ホテルラングウッド) ④連合関東ブロック第22回総会(16:00～・ホテルラングウッド)
17日	土	ネット21「NPOインターンシップ体験事業修了式」(10:00～・あけぼのビル502)	
18日	日		
19日	月	「組合役員教育プログラム」説明会(13:30～・さいたま共済会館)	
20日	火		
21日	水		
22日	木		
23日	金		
24日	土		
25日	日		
26日	月		
27日	火		
28日	水		
29日	木	年末年始休暇 12月29日～1月4日迄	
30日	金		
31日	土		

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

―第12回定期大会を振り返っての感想は?―

東日本大震災の復興・再生、エネルギー政策、組織拡大、非正規労働者への対応、女性役員の登用、財政など、色々な角度から議論をいただいた。さまざまな課題が山積する中で、今後2年間の連合埼玉の運動について決定をいただいたことに改めて感謝申し上げます。

―今後2年間の運動方針のポイントは?―

一言で言えば、東日本大震災からの復興・再生と「働くことを軸とする安心社会」の実現であり、そのために組織拡大や人材育成を強力に進めていく。

―7つの具体的に取り組む運動課題のポイントは?―

その1は、政策制度の取り組みである。労働と生活の質的向上をはじめ、人と人が信頼でつながる地域社会づくりを推進するため、人間尊重・生活重視を基本に、環境保全や地域経済の活性化など、働く者の視点に立った政策制度要求とその実現力の強化に取り組む。

さらに、一日も早い震災からの復興・再生をめざし、東日本大震災から得た教訓を生かした政策づくりに取り組むとともに、震災以前から日本の社会・経済全体が直面してきた少子高齢社会や社会保障制度・税制改革などの諸課題にも視点をあてた取り組みが必要である。

その2は、雇用・労働に関する取り組みである。2012春季生活闘争は連合の方針を踏まえ、地方連合会の役割である中小・地場組合、未組織労働者の支援と世論喚起に取り組み、職場の隣の席にいる非正規の仲間の処遇改善にも、しっかりと取り組んでいきたい。また、新卒者の就職支援、地域の雇用創出や職業訓練など雇用の安定に向けた取り組み。安全衛生への対応とメンタルヘルス対策の強化に取り組む。

その3は、組織の強化および拡大である。「働くことを軸とする安心社会」を社会全体で共有できるよう合意形成をめざす運動を進める。

そして、何と言っても組織拡大の取り組みである。社会的インフラとしての労働組合づくりと集団的労使関係を構築するためにも、中長期目標として掲げた「20万連合埼玉」の実現をめざし、非正規労働者や中小・地場企業で働く人たちの組織化を組織の総力を結集し取り組む。

また、持続可能な社会の構築には、労働組合と労働運動が不可欠であり、常に労働組合の担い手の人材育成に取り組まなければならない。連合埼玉独自の「組合役員教育プログラム」によるリーダーのスキルアップと育成支援を

進める。

その4は、広報宣伝活動である。組合員はもとより、広く県民にもアピールするために、様々な広報媒体を活用しタイムリーな情報提供に努める。さらに街頭宣伝活動にも力を注ぐ。

その5は、男女平等参画社会構築に向けた取り組みである。連合埼玉「第3次男女平等参画推進行動計画」の実践。雇用における全ステージの男女間格差の是正、男女雇用機会均等法の職場への定着、男女平等関連法の改正にしっかりと取り組んでいく。また、女性の労組リーダーの育成にも力を入れていく。

その6は、政治活動である。すべての働く人の生活安定および社会的公正を実現するために、引き続き民主党を基軸とした政権の安定・強化に向けた諸活動に取り組んでいく。中間地方選挙への対応、第23回参議院選挙ならびに第46回衆議院選挙への対応。特に参議院比例代表選挙における候補者個人名での投票の徹底に取り組む。

また、各種地方選挙で惜敗した連合埼玉推薦候補者のうち次回をめざす候補予定者には、候補者発掘の観点からも新たに勉強会的な組織を立ち上げ、連合埼玉および構成組織・地域協議会と連携しながら切磋琢磨できる環境を整えていく。

その7は、平和運動をはじめとする連帯活動の取り組みである。連合の平和運動である「沖縄・広島・長崎・根室集会」に積極的に参加するとともに、平和の尊さや戦争の悲惨さを風化させることなく次代に継承する取り組みとして、連合埼玉主催による「平和の集い」を開催する。また、「ネットワークSAITAMA21運動」の理解促進と定着・普及に向け取り組む。

さらには、労働組合の社会的責任として、東日本大震災からの復興・再生に取り組む。県内に避難されている方々の生活・雇用など、埼玉県・関係市町村や埼玉労働局と連携して生活再建の支援を行なうとともに、「地域に顔の見える運動」の一環として、県内に避難されている方々のネットワークやコミュニティ構築を支援していく。

―運動方針をどのように展開するのか?―

私たちがめざす「安心社会」の実現に向けて、政党・議員・経営者団体・NPOをはじめ、広く社会に問題提起をしていく必要がある。連合埼玉、構成組織、地域協議会が横断的に連携しつつ、それぞれの責任と役割を果たし、スピード感を持って、連合埼玉全体で強力な運動を展開していくことが重要となる。引き続きの協力をお願いしたい。

2011.11.22インタビュー
聞き手 松本文江